

## S09c 高銀緯未同定ガンマ線天体の電波観測

市川 創、大師堂 経明、遊馬 邦之、国吉 雅也、松村 信夫、市川 創、大久保 理基澤野 昭博、吉村 直也、岳藤 一宏、新沼 浩太郎、神吉 貴博、坂井 南美、田村 陽一、土屋 純一（早大宇宙物理学研究所）

早大那須観測所において、赤緯 33 度付近の定期的な観測を始めた。観測周波数は 1.4GHz 帯で、基線長 84m の 2 素子フリッジ観測を行っている。この赤緯では 3C48 をはじめとして約 300mJy 以上の電波源が複数観測されているが、現在銀河面から離れている 3rdEGRET の未同定天体の 1 つである 3EG J0459+3352 のエラーボックスの領域を中心に解析を行っている。今回は、3C48 を基準天体として、昨年 12 月から今年 1 月にかけて観測したデータについてその付近の電波源の変動を調べた。このエラーボックス内で、変動電波源としての上限值である約 300mJy を超えるバーストは今のところ検出されていないが、観測を継続中である。